

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

命とくらし守る政治へ 医療崩壊防ぐコロナ対策 防災減災のまちづくりを

9月市議会の日程決まる

9月定例市議会は、9月8日から10月6日までの日程で開催されます。9月13日から3日間行われる一般質問では、田中はじめ市議が代表質問、舟木けんじ、たちばなふみ市議が一般質問を予定しています。9月17日から29日までの委員会審議を経て、10月6日本会議で議決されます。

月	日	曜	会議名
9	8	水	本会議・決算特別委員会
	13	月	代表質問
	14	火	一般質問
	15	水	一般質問
	16	木	決算特別委員会
	17	金	総務委員会、予算・決算分科会 教育民生委員会、予算・決算分科会
	21	火	総務委員会、予算・決算分科会 教育民生委員会、予算・決算分科会 建設環境委員会（現地視察）
	22	水	経済委員会、予算・決算分科会 建設環境委員会、予算・決算分科会
	24	金	経済委員会、予算・決算分科会 建設環境委員会、予算・決算分科会
	29	水	決算特別委員会 予算委員会
10	6	金	本会議（討論・採決）

豪雨災害対策 デルタ株対応申し入れ、党松江市議団

田中はじめ、舟木けんじ、たちばなふみの共産党市議団は、県へ7・8月の豪雨・台風災害対策を、市に対し豪雨災害対策及び、深刻化するデルタ株対応を求めました。

豪雨災害対策 県へ要請

市議団は19日、尾村利成・大國陽介両県議と共に、県に対し、被災者の生活再建支援と、防災・減災事業を強化す



松尾副知事に要請書を渡す県・市議団

るよう要請しました。

尾村利成県議は、「防災・減災対策の抜本的な強化が必要」と強調。河川整備、砂防関係予算増額を要求しました。松尾伸次副知事は「防災・減災事業は県民の安心や安全



県土整備事務所に申し入れる尾村県議と市議団

県土整備事務所へ、被災か所の要望を届ける

に直接かかわる。しっかりとやっていきたい」と応じました。

25日、市議団は尾村県議と共に、意宇川、意東川、比津川、北田川等の河川改修、八雲地区、本庄地区等の土砂崩れ対策、大海崎堤防嵩上げ及び通行止め表示改善等について、県土整備事務所に要望し



小村総務部長に申し入れ書を渡す市議団

市長・教育長に申し入れ

対応した妹尾圭人所長らは、「方針や工法を市と協議中。決まれば市民に説明したい」と回答しました。

市議団は26日、上定昭仁市長と藤原亮彦教育長に対し、豪雨災害対策とデルタ株対応

臨時国会を直ちに 街頭から訴え

尾村県議、松江市議団

8月19日、総選挙躍進をめざす中国地方一斉宣伝として、尾村利成島根県議、岩田剛東部地区委員長、田中はじめ、舟木けんじ、たちばなふみ各松江市議が、市内で街頭宣伝を行いました。

田中はじめ市議は原発問題について、「6月議会で上定昭仁市長は、『電力確保のため、原発は当面必要』と述べたが、2号機・3号機が動き、今後百年にわたって松江市が原発事故の恐怖と共に暮らす



宣伝する（右から）岩田、田中、尾村、たちばな、舟木の各氏

「私たちはふみ市議は、大雨・台風災害について、「松江市が初めて線状降水帯の被害に見舞われた。誰ひとり取り残すことなく、住み続けられる松江にするため、これまでの枠にこだわらない対策を求めている」と呼びかけました。尾村利成県議は、野党が求める臨時国会召集に与党が応じないことを批判。「デルタ変異株は若い世代にも感染が拡大し重症化リスクもある。直ちに国会を開いて医療崩壊を防ぐための対策を行うべき。総選挙で命とくらしを守る政府に変えよう」と訴えました。